

「路上生活の身体から生まれるダンス、ソケリッサ！東京路上パフォーマンスツアー」 ～路上にて生まれる景色と未来の行方～

主 催 一般社団法人アオキカク
日 時 平成29年9月8日（金）、平成30年3月9日（金）
会 場 台東区立隅田公園、台東区立玉姫公園

アオキカクは、ダンス芸術によって、何ができるのか。日々生きることに目を向けざるをえない身体、路上生活者の身体表現「新人Hソケリッサ！」の活動と“踊りは誰でもできる”をうたい、誰もがそれぞれの今ある身体を肯定することを第一としたワークショップ活動の2つのアプローチにより「生きるからだ」の探求を行い、自他を肯定する身体の日常化へ繋がることを目指し活動しています。

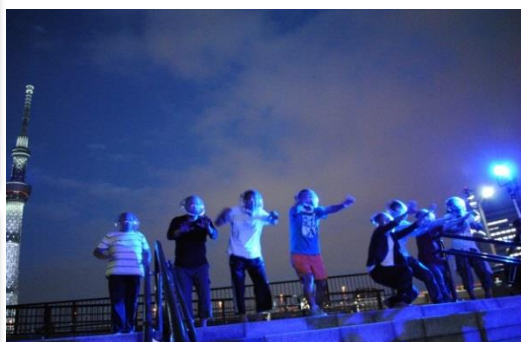
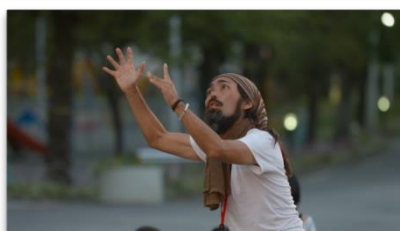
この企画は、新人Hソケリッサ！活動10周年を記念したダンスツアーの一環として、台東区では隅田公園と玉姫公園の2つの会場で公演されました。

◎「新人Hソケリッサ！」とは…

「ソケリッサ！」は造語で、「それ行け！という言葉の勢い、前に進む」という意味です。2005年から演出を行うダンサー・振付家アオキ裕キが「生きることに日々向き合う身体」を求め路上生活経験を持つ参加者を集め活動。近年では、2015年シンガー寺尾紗穂とのコラボレーションによる日本全国13か所でのツアーが実現する他、金沢21世紀美術館企画金沢フリンジ2016、山形ビエンナーレ2016、ブラジルにてリオ五輪プログラムのセレブラ「With one voice」、JCDN主催「踊りに行くぜⅡ」等に参加。

<新人Hソケリッサ！リバーサイドダンス>

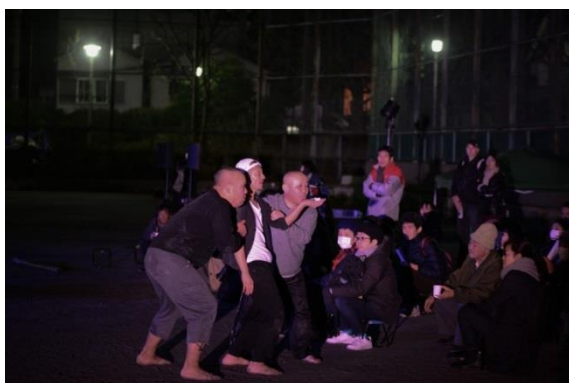
台東区での初の公演会場は、スカイツリーを望む隅田公園展望広場です。展望広場からの眺望を楽しみに訪れる観光客や公園内を散歩する地元住民等で賑わう公園に、夕暮れとともに「新人Hソケリッサ！」が登場しました。ダンスパフォーマンスだけでなく、会場にあわせた音響・照明等の演出により、この場所でしか出来ない特別な空間となりました。新人Hソケリッサ！による約40分間の暑いパフォーマンスに、本公演を目的に訪れた方だけでなく、通りすがりの人々も足を止めて見学していました。（以下、公演中の様子↓）



＜玉姫公園ライブ&パフォーマンス＞

玉姫公園での公演は、当初 10 月 22 日(日)に隣の玉姫稲荷神社前道路で開催する「きむらとしろうじんの野点(谷中のおかって主催)」と連携して開催する予定でしたが、台風の影響で延期を余儀なくされました。再度、地元NPOや出演者との調整を経て、3 月の開催が実現しました。本公演では、新人Hソケリッサ！によるパフォーマンスの他に、音楽家・文筆家として活動するシンガー寺尾紗穂によるピアノの弾き語りライブや新人Hソケリッサ！メンバーが寺尾さんの楽曲にあわせてその場で即興のパフォーマンスを行うコラボレーション企画等を披露しました。また、当日は地元のNPO法人山友会やボランティアの協力により観客の方に温かいお味噌汁等を振る舞われました。

(以下、公演中の様子↓)



全2回の公演は、盛況のうちに終了しました。なお、「新人Hソケリッサ！」の活動10周年を記念して開催しているパフォーマンスツアーは、この後も東京近郊の路上や屋外スペースを巡る予定です。(平成30年9月頃までの予定)